

事務事業名		永沢7号線道路改良事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造				事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造						会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備				☒ 単年度のみ	01	08	02	03	33	
根拠法令						☐ 単年度繰返 (開始 年度 ~)						
所 属	部課名	都市整備部建設課				☐ 期間限定複数年度 [計画期間] 年度 ~ 年度						
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111		全体計画欄の総投入量を記入						
			内線	316								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												
本路線は、大船渡魚市場の北側に位置しており、水産物の流通や物資の輸送に多く利用されている道路であるが、急カーブになっているため大型貨物車のすれ違いが出来ない状況である。このことから、利用者の利便性の向上を図るため、急カーブ箇所の拡幅改良整備を行うものである。												
本路線の整備は、延長52mとし、平成22年度に測量設計業務を完了し、同年度に工事施工を行っていたが、施工中に(平成23年3月11日に発生した)東日本大震災により被災したため、請負業者へ損害費用(被災時点の工事出来分分の費用)を補償し、事業を完了した(現場は完了していたため、災害復旧事業で復旧する予定)。												
事業費は、委託料、補償金、工事費として支出された。												
全体計画(期間限定複数年度のみ)												
総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金									
			都道府県支出金									
			地方債									
			その他									
			一般財源									
			事業費計 (A)		0							
人件費	正規職員従事人数											
	延べ業務時間											
	人件費計 (B)		0									
	トータルコスト(A) + (B)		0									

現状把握の部 (DO)									
(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 測量設計業務(52m)、補償業務(損害費用)、工事施工(52m)				活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
				名称					単位
				ア	施工延長				m
				イ	整備率(計画区間改良済延長/計画総延長)				%
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 事業完了のため無し				ウ					
				対象指標(対象の大きさを表す指標)					
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市道永沢7号線 市道利用者				名称					単位
				カ	計画総延長				m
				キ	主たる利用者数(魚市場社員(20人)+魚市場買受人(97社×2名))				人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (市道が)拡幅改良される (市道利用者に)より安全に利用してもらう				ク					
				成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安全で快適に移動できる				サ	十分な幅員に拡幅改良された供用開始道路延長				m
				シ					
				ス					
(2) 総事業費・指標等の推移									
			年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千円						5,160
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						3,200
		その他	千円						
		一般財源	千円						241
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0	8,601
	人件費	正規職員従事人数	人						2
		延べ業務時間	時間						392
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	0	1,568
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0	10,169
活動指標		ア	m						52
		イ	%						100.0
		ウ							
対象指標		カ	m						52
		キ	人						214
		ク							
成果指標		サ	m						52
		シ							
		ス							

事務事業ID	1429	事務事業名	永沢7号線道路改良事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 大船渡魚市場関係者から改良を要望され、平成22年度から事業を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 魚市場関係者の積極的な協力がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 魚市場関係者から、早期完成を強く要望されている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 改良整備により、安全・快適に利用できることで、都市環境の向上につながる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 対象区間52mは、未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 十分な幅員で改良された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 安全で快適に移動できない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 削減余地がない [理由] 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1429	事務事業名	永沢7号線道路改良事業
--------	------	-------	-------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 工事施工中に(平成23年3月11日に発生した)東日本大震災により被災したため、請負業者へ損害費用(被災時点の工事出来分等の費用)を補償した。現場は完了していたため、災害復旧事業で復旧する予定である。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業完了のため廃止。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr> <tr> <td></td><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

4 事務事業の2次評価結果

(職 名)	原則として施策の主管課長
2次評価者	建 設 課 長

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																								
(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 工事施工中に(平成23年3月11日に発生した)東日本大震災により被災したため、請負業者へ損害費用(被災時点の工事出来分等の費用)を補償した。現場は完了していたため、災害復旧事業で復旧する予定である。										
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☒ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 事業完了のため廃止。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr> <tr> <td></td><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
